



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,959	△10.2	60	16.6	57	24.9	29	136.7
24年3月期第1四半期	3,294	△3.4	51	△48.3	46	△50.4	12	△62.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 27百万円 (149.5%) 24年3月期第1四半期 11百万円 (△62.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	175.26	—
24年3月期第1四半期	74.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	5,248	1,735	32.9	10,342.99
24年3月期	6,063	1,840	30.2	10,977.48

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,726百万円 24年3月期 1,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	700.00	—	800.00	1,500.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	700.00	—	800.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	△4.2	390	20.6	370	22.4	220	23.9	1,317.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	166,932 株	24年3月期	166,932 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	166,932 株	24年3月期1Q	166,932 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の東日本大震災やその後の電力供給問題が影響し、停滞感があるものの、復興需要の下支えなどもあり、全体としては緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州債務危機を背景とした海外景気の下振れ懸念や円高・株安の進行等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の急激な普及に伴い、増加したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン (スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が29億59百万円 (前年同四半期比10.2%減)、営業利益が60百万円 (前年同四半期比16.6%増)、経常利益が57百万円 (前年同四半期比24.9%増)、四半期純利益が29百万円 (前年同四半期比136.7%増) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は23億22百万円 (前年同四半期比8.7%減)、セグメント利益は21百万円 (前年同四半期比41.4%減) となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は3億97百万円 (前年同四半期比21.0%減)、セグメント利益は28百万円 (前年同四半期比1,044.8%増) となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は2億36百万円 (前年同四半期比4.6%減)、セグメント利益は20百万円 (前年同四半期比18.1%減)、となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は52億48百万円となり、前連結会計年度末比8億15百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少 (1億73百万円) 及び受取手形及び売掛金の減少 (5億64百万円) によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は35億12百万円となり、前連結会計年度末比7億9百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少 (4億38百万円)、短期借入金の減少 (1億46百万円) 及び未払法人税等の減少 (46百万円) によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における少数株主持分の残高は8百万円となりました。また、純資産の残高は17億35百万円となり、前連結会計年度末比1億5百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月17日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,511	1,286,930
受取手形及び売掛金	2,206,129	1,641,589
商品及び製品	36,270	36,997
仕掛品	37,218	53,762
原材料及び貯蔵品	6,785	6,418
その他	696,030	627,317
貸倒引当金	△26,547	△25,655
流動資産合計	4,416,398	3,627,359
固定資産		
有形固定資産	721,923	722,007
無形固定資産		
のれん	213,219	203,555
その他	127,892	126,402
無形固定資産合計	341,111	329,957
投資その他の資産		
その他	635,358	618,247
貸倒引当金	△53,817	△51,230
投資その他の資産合計	581,540	567,016
固定資産合計	1,644,575	1,618,981
繰延資産		
社債発行費	2,352	1,683
繰延資産合計	2,352	1,683
資産合計	6,063,327	5,248,024
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,803,548	1,365,119
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
短期借入金	361,332	214,831
未払金	678,702	670,093
未払法人税等	52,734	5,781
賞与引当金	69,521	29,981
役員賞与引当金	—	1,875
その他	226,104	262,764
流動負債合計	3,391,944	2,750,446
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	227,918	166,169
退職給付引当金	104,135	95,153
その他	198,433	201,134
固定負債合計	830,487	762,457
負債合計	4,222,431	3,512,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,250,344	1,146,054
株主資本合計	1,835,052	1,730,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,559	△4,186
その他の包括利益累計額合計	△2,559	△4,186
少数株主持分	8,402	8,544
純資産合計	1,840,895	1,735,120
負債純資産合計	6,063,327	5,248,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,294,180	2,959,506
売上原価	2,718,503	2,399,339
売上総利益	575,677	560,166
販売費及び一般管理費	523,807	499,703
営業利益	51,869	60,463
営業外収益		
受取利息	1,795	1,215
違約金収入	136	3,103
その他	1,108	2,507
営業外収益合計	3,040	6,826
営業外費用		
支払利息	5,706	4,651
持分法による投資損失	1,048	927
その他	1,910	3,950
営業外費用合計	8,664	9,530
経常利益	46,245	57,759
特別利益		
固定資産売却益	3,297	—
特別利益合計	3,297	—
特別損失		
固定資産除却損	108	59
データセンター移設費用	823	—
その他	2,777	—
特別損失合計	3,709	59
税金等調整前四半期純利益	45,832	57,699
法人税、住民税及び事業税	18,697	22,898
法人税等調整額	14,748	5,403
法人税等合計	33,446	28,302
少数株主損益調整前四半期純利益	12,386	29,397
少数株主利益	27	141
四半期純利益	12,359	29,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,386	29,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,254	△1,627
その他の包括利益合計	△1,254	△1,627
四半期包括利益	11,132	27,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,107	27,628
少数株主に係る四半期包括利益	25	141

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,542,664	503,294	248,221	3,294,180	—	3,294,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,384	3,978	4,770	11,133	—	11,133
計	2,545,048	507,272	252,992	3,305,313	—	3,305,313
セグメント利益	35,877	2,457	24,760	63,096	—	63,096

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,096
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	209
のれんの償却額	△11,435
四半期連結損益計算書の営業利益	51,869

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,322,126	397,581	236,765	2,956,473	3,033	2,959,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,340	1,517	2,693	7,551	—	7,551
計	2,325,466	399,098	239,458	2,964,024	3,033	2,967,057
セグメント利益	21,024	28,136	20,272	69,434	△1,680	67,753

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。なお、平成24年3月31日に「ドキュメント・ソリューション事業」に含まれている当社の連結子会社の株式会社新英のドキュメント・ソリューション事業を第三者に事業譲渡いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	69,434
「その他」の区分の利益	△1,680
セグメント間取引消去	1,674
のれんの償却額	△8,964
四半期連結損益計算書の営業利益	60,463

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。